免疫細胞生物学

［演習］ 第4学年　前期　選択　1単位

《担当者名》坊垣暁之

【概　要】
免疫学I、II、免疫検査学実習、臨床病態学で習得した知識、技術をもとに膠原病やリウマチ性疾患などの免疫疾患の捉え方を身につける。ヒト末梢血細胞分離、リンパ球等の細胞分画、フローサイトメトリー法、リンパ球等の機能解析(サイトカイン産生能、細胞刺激応答性など)、細胞死、免疫システムに関わる分子の機能解析などについて学習する。

【学修目標】
１）臨床検査に必要な知識を得るために、ヒト疾患における免疫システムの関わりと検出方法の概要を理解する。
２）免疫異常をきたす疾患の病態解析の方法を理解し説明できる。
３）適切な論文を検索できる。
４）論文内容を理解してまとめることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション1	・研究倫理 ・論文の構成 ・論文の種類 ・論文の評価指標 ・論文検索 キーワード：インフォームドコンセント、IMRAD	坊垣暁之
2	オリエンテーション2	・基本的な実験手技 ・モデルマウス作製と表現型解析 キーワード：タンパク質発現制御、リンパ球機能解析	坊垣暁之
3	オリエンテーション3	・臨床研究の種類 キーワード：前向き研究、後ろ向き研究、横断研究	坊垣暁之
4 ～ 15	論文抄読	・論文抄読 キーワード：基礎研究、臨床研究	坊垣暁之

【授業実施形態】
面接授業
※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】
レポート100%

【教科書】
適時、プリント等の資料を配布します。

【学修の準備】
図書館などで該当する項目を予習し、専門用語の意味などを理解しておいてください（８０分）。
講義で用いた資料に関して復習し、理解を深めてください（８０分）。

【ディプロマポリシーとの関連性】
（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。
（DP6）臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

【実務経験】
医師

【実務経験を活かした教育内容】
医療機関および研究機関での実務経験を活かし、免疫細胞生物学の講義を行う。